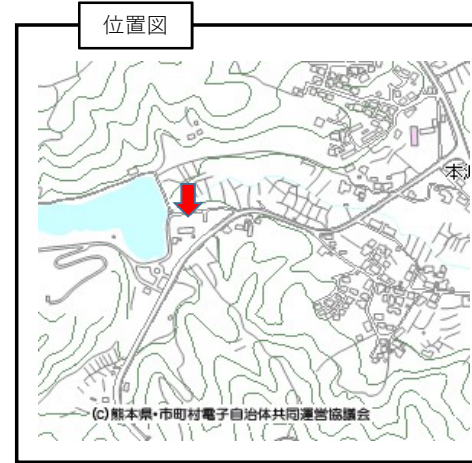


個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	71	施設名称	天草家畜保健衛生所
	所在地	天草市本渡町本戸馬場	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	3,131.6 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	209.1 m ²	用途地域	
施設の目的	家畜の伝染病予防や農家の経営安定のための各種指導を行う			



(出典: 国土地理院)

2. 棟名称一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1970	CB	209.1	

3. 棟ごとの整理

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1970	CB	209.1	1	0	50

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②					
適合度②/①	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	—
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和12年)

- ・令和3年度で既存建物を解体し、建替に着手する。
- ・新設建物については、令和4年度末完成予定。(主構造: 木造、延面積: 824.3m²)
- (アセスメント調査は未実施)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

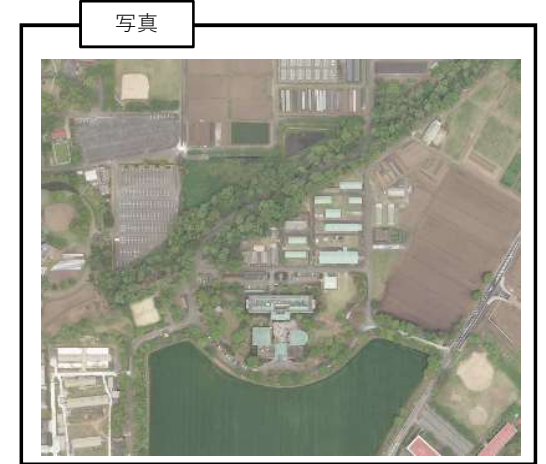
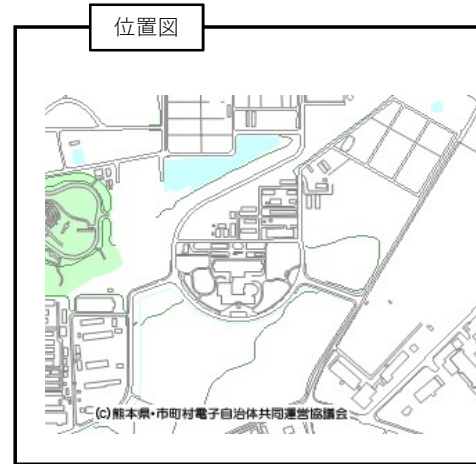
施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	72	施設名称	畜産研究所精液処理施設
	所在地	合志市栄	施設管理所属	畜産課
	敷地面積	12,030.0 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	364.0 m ²	用途地域	
施設の目的	県有種雄牛の飼養管理及び凍結精液の備蓄・供給等の育種改良関連業務を行う			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	精液処理施設	1995	S	364.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 精液処理施設

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	精液処理施設	1995	S	364.0	1	0	26

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	17	18	15	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和37年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用地に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		23.5		60.8		9.7	0.1		4.6		
維持管理費		1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
撤去費											
合計		25.1	1.6	62.4	1.6	11.4	1.7	1.6	6.2	1.6	1.6
累計		25.1	26.8	89.1	90.8	102.1	103.8	105.4	111.6	113.2	114.9

施設アセスメント調査から算出。

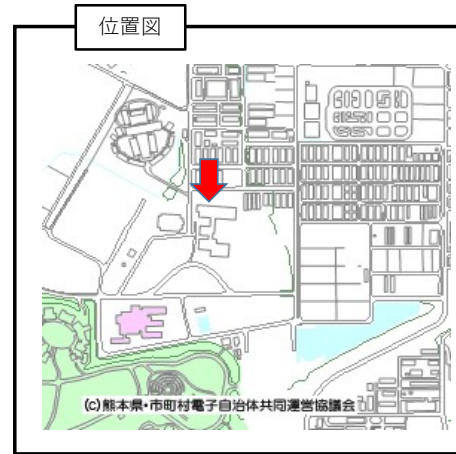
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	73	施設名称	農業大学校
	所在地	合志市栄	施設管理所属	農地・担い手支援課
	敷地面積	289,635.6 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	12,317.6 m ²	用途地域	
施設の目的	次代の本県農業を担う優れた農業経営者の育成を図る			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	管理棟	1978	RC	748.0	
2	調理、機械棟	1978	RC	290.0	
3	研究・講義棟	1978	RC	2,291.0	
4	就農支援研修施設	1978	RC	921.5	
5	体育館	1979	RC	922.9	
6	畜産講義棟	1979	RC	261.0	
7	学生寮	2000	W	5,297.9	
8	研修交流館	2019	W	1,585.3	

3. 建物毎の概要等

(1) 管理棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	管理棟	1978	RC	748.0	1	0	43

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	17	16	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.63	0.57	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和50年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。 ・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に、研究・講義棟改修工事に伴う電気設備の改修工事を行う。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		89.0									
更新・修繕費		29.9	30.2	22.6		22.1	0.1		0.1	1.3	36.9
維持管理費		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
撤去費											
合計		122.2	33.5	26.0	3.3	25.4	3.5	3.3	3.4	4.6	40.2
累計		122.2	155.7	181.6	185.0	210.4	213.9	217.2	220.6	225.2	265.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 調理、機械棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	調理、機械棟	1978	RC	290.0	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	15	17	15	1
適合度②/①	0.40	0.60	0.63	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和20年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に、研究・講義棟改修工事に伴う電気設備及び機械設備の改修工事を行う。	

(3) 研究・講義棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
3	研究・講義棟	1978	RC	2,291.0	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	19	17	0
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.61	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和50年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。 ・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。 ・農業大学校保全計画に沿って、令和3年度に、令和4年度実施の改修工事に伴い仮設校舎をリースする。 ・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に、建具、電気設備、空調設備及び機械設備の改修工事を行う。	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.5		21.6			0.1		1.9		2.8
維持管理費		1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
撤去費											
合計		17.8	1.3	22.9	1.3	1.3	1.3	1.3	3.2	1.3	4.1
累計		17.8	19.1	42.0	43.3	44.5	45.9	47.2	50.3	51.6	55.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		272.6									
更新・修繕費		119.9		287.7					15.3	12.4	22.0
維持管理費		10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2	10.2
撤去費											
合計		402.7	10.2	297.9	10.2	10.2	10.2	10.2	25.5	22.6	32.2
累計		402.7	412.9	710.8	721.0	731.1	741.3	751.5	777.0	799.6	831.7

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(4) 就農支援研修施設

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
4	就農支援研修施設	1978	RC	921.5	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	19	15	1
適合度②/①	0.50	0.64	0.70	0.54	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和50年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年にすることが可能である。	
	・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
	・農業大学校保全計画に沿って、令和12年度に、屋上防水、空調の改修工事を行う。	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		109.7									
更新・修繕費		36.8		42.4		123.5	6.7		0.1	1.6	6.0
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		150.5	4.1	46.5	4.1	127.6	10.8	4.1	4.2	5.7	10.0
累計		150.5	154.6	201.1	205.2	332.8	343.5	347.6	351.8	357.5	367.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(5) 体育館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
5	体育館	1979	RC	922.9	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	16	17	14	0
適合度②/①	0.40	0.64	0.63	0.50	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判断。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	90年
		※(令和51年)
	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
	・令和3年(2021年)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
	・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度にトイレの改修工事を行う。	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		109.8									
更新・修繕費		75.5		111.9			0.1		10.2	1.2	11.6
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		189.5	4.1	116.0	4.1	4.1	4.2	4.1	14.3	5.3	15.7
累計		189.5	193.6	309.6	313.7	317.8	322.0	326.1	340.4	345.7	361.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(6)畜産講義棟

①概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
6	畜産講義棟	1979	RC	261.0	1	0	42

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	6	16	16	13	1
適合度②/①	0.60	0.64	0.59	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和21年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・農業大学校保全計画に沿って、令和5年度に、電気、機械の改修工事を行う。	

(7)学生寮

①概要

面積:m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
7	学生寮	2000	W	5,297.9	2	0	21

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	17	18	13	1
適合度②/①	0.50	0.68	0.67	0.46	0.14

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和42年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	
	・農業大学校保全計画に沿って、令和3年度に外壁改修工事を行う。	
	・農業大学校保全計画に沿って、令和4年度に空調設備及び給湯設備の改修工事を行う。	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		13.9	6.8	10.5	1.0	2.1	0.1		2.5		1.7
維持管理費		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
撤去費											
合計		15.0	8.0	11.7	2.2	3.3	1.2	1.2	3.7	1.2	2.9
累計		15.0	23.0	34.7	36.8	40.1	41.3	42.5	46.1	47.3	50.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		508.5		222.8		297.4	4.5		85.5		61.9
維持管理費		23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5
撤去費											
合計		532.0	23.5	246.4	23.5	321.0	28.0	23.5	109.1	23.5	85.5
累計		532.0	555.6	801.9	825.5	1,146.5	1,174.5	1,198.0	1,307.1	1,330.6	1,416.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(8) 研修交流館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
8	研修交流館	2019	W	1,585.3	2	0	2

※築年数はR3.3月末時点

②利用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分 【評価項目数①】	建替	転用	継続利用 (60年)	継続利用 (90年)	廃止
【10】	【25】	【27】	【28】	【7】	
適合数②	4	17	21	22	0
適合度 ②/①	0.40	0.68	0.78	0.79	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数	60年 ※(令和61年)
・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦 西暦	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費				7.6	5.7		7.0	1.7		23.9	
維持管理費		7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
撤去費											
合計		7.0	7.0	14.7	12.8	7.0	14.1	8.8	7.0	30.9	7.0
累計		7.0	14.1	28.8	41.6	48.6	62.7	71.5	78.5	109.5	116.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	74	施設名称	林業研究・研修センター
	所在地	熊本市中央区黒髪	施設管理所属	森林整備課
	敷地面積	33,150.9 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,626.8 m ²	用途地域	
施設の目的		育林・森林環境や林産加工に関する研究、技術の普及支援や各種相談に対応		



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1978	RC	1,386.8	
2	木材研究棟	1987	W	240.0	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1978	RC	1,386.8	3	0	42

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	17	15	3
適合度②/①	0.30	0.68	0.63	0.54	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数
	90年 ※(令和50年)
A・B項目から導かれる方向性	・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。
	・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある(スペース利用度や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		165.0									
更新・修繕費		36.4		119.0	0.1	43.6	0.2	2.6	9.0	1.8	
維持管理費		6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2
撤去費											
合計		207.6	6.2	125.2	6.2	49.7	6.3	8.8	15.2	8.0	6.2
累計		207.6	213.7	338.9	345.1	394.9	401.2	410.0	425.2	433.2	439.3

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2)木材研究棟

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	木材研究棟	1987	W	240.0	1	0	33

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目:施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	13	16	15	2
適合度②/①	0.30	0.52	0.59	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目:長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和29年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位:百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		39.7		16.4		5.9	0.1		3.0	0.4	
維持管理費		1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
撤去費											
合計		40.7	1.1	17.5	1.1	7.0	1.1	1.1	4.1	1.5	1.1
累計		40.7	41.8	59.3	60.4	67.3	68.5	69.5	73.6	75.1	76.1

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	75	施設名称	林業技術研修センター
	所在地	熊本市中央区黒髪	施設管理所属	森林整備課
	敷地面積	8,849.1 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,262.3 m ²	用途地域	
施設の目的		林業研究・研修センターにおいて行う研修及び講習の場		

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	研修棟	1976	RC	519.5	
2	林業技術研修センター2号館	2019	W	742.8	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 研修棟

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	研修棟	1976	RC	519.5	2	0	44

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	14	17	14	2
適合度②/①	0.40	0.56	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

目標使用年数 90年
※(令和48年)

・適切な保全を実施しながら継続利用すること、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。

・令和3(2021)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用		23.8									
更新・修繕費		15.4		14.5	0.0		0.0	0.4	2.2	0.3	
維持管理費		2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3
撤去費											
合計		41.5	2.3	16.8	2.3	2.3	2.3	2.7	4.5	2.6	2.3
累計		41.5	43.8	60.6	62.9	65.2	67.5	70.2	74.7	77.3	79.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 林業技術研修センター2号館

①概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	林業技術研修センター2号館	2019	W	742.8	1	0	2

※築年数はR3.3月末時点

②利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	16	22	18	0
適合度②/①	0.30	0.64	0.81	0.64	0.00

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数 60年
※(令和61年)

・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。

③計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費					4.3		5.2	1.3		18.2	
維持管理費		3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3
撤去費											
合計		3.3	3.3	3.3	7.6	3.3	8.5	4.6	3.3	21.5	3.3
累計		3.3	6.6	9.9	17.5	20.8	29.3	33.9	37.2	58.7	62.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	76	施設名称	水産研究センター
	所在地	上天草市大矢野中	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	29,778.3 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	5,749.0 m ²	用途地域	
施設の目的		水産業に関する試験研究を総合的に行い水産業の振興に資する		

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1990	RC	5,749.0	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1990	RC	5,749.0	2	0	31

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	17	18	14	2
適合度②/①	0.30	0.68	0.67	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 90年 ※(令和62年)
	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため目標使用年数を90年に設定することが可能である。 令和9(2027)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。 現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											684.1
更新・修繕費		267.6	76.5	842.9			0.6	49.7	73.0		15.7
維持管理費		25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5	25.5
撤去費											
合計		293.1	102.0	868.5	25.5	25.5	26.1	75.2	98.6	25.5	725.4
累計		293.1	395.1	1,263.6	1,289.1	1,314.7	1,340.8	1,416.0	1,514.6	1,540.1	2,265.5

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	77	施設名称	牛深種苗生産施設
	所在地	天草市牛深町	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	17,114.8 m ²	都市計画区域	非線引き都市計画区域
	延床面積	544.7 m ²	用途地域	
施設の目的	水産動植物を種苗生産・育成・配付を行いその放流効果を検証して啓発・普及することで、県民への水産物の安定供給と海洋環境の保全に取り組む			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1977	RC	544.7	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1977	RC	544.7	2	0	43

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	5	16	13	12	3
適合度②/①	0.50	0.64	0.48	0.43	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数
	60年 ※(令和19年)
A・B項目から導かれる方向性	・長寿命化要件に該当するが、継続利用(90年)への適合性が低いため、適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが適当である。
	・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		32.8	35.4	4.5		2.8	0.2		6.8	1.0	
維持管理費		2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4
撤去費											
合計		35.2	37.8	6.9	2.4	5.2	2.6	2.4	9.2	3.4	2.4
累計		35.2	73.0	79.9	82.3	87.5	90.1	92.5	101.8	105.2	107.6

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	78	施設名称	大矢野種苗生産施設
	所在地	上天草市大矢野中	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	31,984.7 m ²	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	214.7 m ²	用途地域	
施設の目的	水産動植物を種苗生産・育成・配付を行いその放流効果を検証して啓発・普及することで、県民への水産物の安定供給と海洋環境の保全に取り組む			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1990	LS	214.7	

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1990	LS	214.7	1	0	31

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	18	16	15	2
適合度②/①	0.40	0.72	0.59	0.54	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数 60年 ※(令和32年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。 ・現状の用途に適した形での転用や改善について検討する必要がある。(スペース利用率や道路アクセスに課題)

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		4.9	11.3	23.2		1.0	0.0		1.2	1.5	0.4
維持管理費		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
撤去費											
合計		5.8	12.2	24.1	1.0	1.9	1.0	1.0	2.2	2.5	1.3
累計		5.8	18.1	42.2	43.1	45.1	46.0	47.0	49.2	51.6	52.9

施設アセスメント調査から算出。
※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

※熊本県庁舎等建築物個別施設計画は個々の建物の築年数や構造等に着目して策定しており、施設で提供される行政サービスの必要性について判断したものではありません。

1. 施設概要

基本情報	施設番号	79	施設名称	漁業取締事務所
	所在地	宇城市三角町三角浦1160-179	施設管理所属	水産振興課
	敷地面積	港湾用地	都市計画区域	都市計画区域外
	延床面積	322.9 m ²	用途地域	
施設の目的	漁業秩序を維持することにより、水産資源の回復と漁業者の安全・安心な操業を図るため漁業違反の未然防止と漁業違反者の取締を行う			

2. 建物別一覧

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	本館	1998	W	322.9	



(出典：国土地理院)

3. 建物毎の概要等

(1) 本館

① 概要

面積：m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	本館	1998	W	322.9	1	0	23

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方角性

A項目：施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	4	17	19	16	2
適合度②/①	0.40	0.68	0.70	0.57	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0～1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目：長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和40年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用することが可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位：百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		16.4	0.6	38.9		19.4	0.1		10.4		2.3
維持管理費		1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
撤去費											
合計		17.9	2.0	40.3	1.4	20.8	1.5	1.4	11.8	1.4	3.7
累計		17.9	19.9	60.2	61.7	82.5	84.0	85.5	97.3	98.7	102.4

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

個別施設計画シート

1. 施設概要

基本情報	施設番号	80	施設名称	建設技術センター
	所在地	熊本市南区城南町	施設管理所属	土木技術管理課
	敷地面積	12,305.56 m ²	都市計画区域	市街化調整区域
	延床面積	1,839.8 m ²	用途地域	
施設の目的	熊本県内の地方公共団体が施行する建設事業に関する技術水準の向上を図り、適正かつ効率的な事業執行を支援する			



(出典: 国土地理院)

2. 建物別一覧

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	備考
1	試験棟	1985	LS	911.0	
2	研修棟	1985	RC	928.8	

3. 建物毎の概要等

(1) 試験棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
1	試験棟	1985	LS	911.0	1	0	36

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	15	17	14	2
適合度②/①	0.30	0.60	0.63	0.50	0.29

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	非該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性	目標使用年数	60年
		※(令和27年)
	・適切な保全を実施しながら目標使用年数まで継続利用が可能である。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用											
更新・修繕費		58.0		67.1		12.1	0.2		6.5	1.6	5.0
維持管理費		4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
撤去費											
合計		62.1	4.0	71.2	4.0	16.1	4.2	4.0	10.6	5.6	9.0
累計		62.1	66.1	137.3	141.3	157.4	161.7	165.7	176.3	181.9	190.9

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。

(2) 研修棟

① 概要

面積: m²

建物番号	建物名	建築年	構造	延床面積	地上階数	地下階数	築年数
2	研修棟	1985	RC	928.8	2	0	35

※築年数はR3.3月末時点

② 利活用の方向性

A項目: 施設アセスメント調査

利活用区分	建替	転用	継続利用(60年)	継続利用(90年)	廃止
【評価項目数①】	【10】	【25】	【27】	【28】	【7】
適合数②	3	16	16	14	3
適合度②/①	0.30	0.64	0.59	0.50	0.43

施設の利用状況や劣化の状況等を各所管課で調査し、利活用適合性を判別。
適合度は0~1.0までで数値が高いほどそれぞれの適合性が高い。

B項目: 長寿命化要件への該当

構造	S造、若しくは1972年以降建築のRC造、SRC造	該当
延床面積	500m ² 以上	

※構造及び延床面積両方の条件に該当する場合、該当。

A・B項目から導かれる方向性

目標使用年数	90年
	※(令和57年)
・適切な保全を実施しながら継続利用することと、長寿命化要件に該当するため、目標使用年数を90年に設定することが可能である。	
・令和5(2023)年度を目安として長寿命化改修(築後40年目を基準)の検討に着手する必要がある。	
・令和3年度に多目的トイレと女子トイレ(洋式トイレ、手すり付き)増設工事を行う。	

③ 計画期間内の概算ライフサイクルコストのシミュレーション

単位: 百万円

項目	和暦	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
建替費用											
転用費用											
長寿命化費用						110.5					
更新・修繕費		40.8		35.7		61.3	0.1		0.0	1.2	67.0
維持管理費		4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
撤去費											
合計		44.9	4.1	39.8	4.1	176.0	4.2	4.1	4.2	5.3	71.2
累計		44.9	49.1	88.9	93.0	269.0	273.3	277.4	281.6	286.9	358.0

施設アセスメント調査から算出。

※このシミュレーションは、今後の予算措置等に直接関連するものではありません。